

F U J I S A N N E T W O R K

ふじさんネットワーク

URL/<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

情報誌 2001. 春

Vol.6





春到来! ふじさんネットワークの新しい1年がスタートします。

待ちに待った桜の季節がやってきました。雪をいただいた富士山にも春が訪れ、会員のみなさんの活動も本格始動する季節。さあ、いよいよ新年度のスタートです。今年度の「ふじさんネットワーク」は新規事業もいろいろ。会員のみなさんの参加、ご理解、ご協力をお願いいたします。

今年も富士山の「森づくり大作戦」。ふるって参加を!

「静岡県の豊かな森林を未来の子どもたちに引き継いでいきたい」そんな想いから始まった「森づくり県民大作戦」が今年も4月14日から5月15日まで行われます。富士山地区では「ニッセイ緑の財団」「富士山自然の森づくり」「柿田川・東富士の地下水を守る連絡会」「富士山まなびの森実行委員会」「NPO法人土に還る木・森づくりの会」「富士山ナショナル・トラスト」「富士急行」「静岡県」「富士市」など多くの会員のみなさんが大作戦に参加を予定しています。

「第2回森づくり県民大作戦」の資料を同封しますので、ふるってご参加ください。



植樹、下刈りにも参加を!

春の訪れと共に会員のみなさんの活動も本格化し、今後も自然観察会、植樹、そして夏の下刈りと様々な活動が予定されています。こうした情報はHPのイベント情報でも紹介していきますので、みなさんふるってご参加ください。

「ふじさんネットワーク傷害保険」ができました。活用ください。

会員のみなさんが主催する富士山の環境保全活動を対象に、一括して傷害保険に加入する「ふじさんネットワーク傷害保険」を作りました。富士山地域における森づくり活動、清掃活動、自然観察会等、環境保全活動を対象とし、保険料は「ふじさんネットワーク」が負担します。詳細については同封の資料をご覧ください。また加入を希望する会員団体のみなさんは事務局までご連絡ください。

「ふじさん(富士山)カード」本格始動!

昨年より準備を進めてきた「ふじさん(富士山)カード」が出来上がりました。これは「ニコスカード」「オリコカード」と提携し実現したもので、カード利用代金の一部(利用代金の0.5%)が「ふじさんネットワーク」を通して富士山の環境保護活動に役立てられると共に、会員のみなさんの活動を応援するクレジットカードです。詳細については事務局にお問い合わせください。

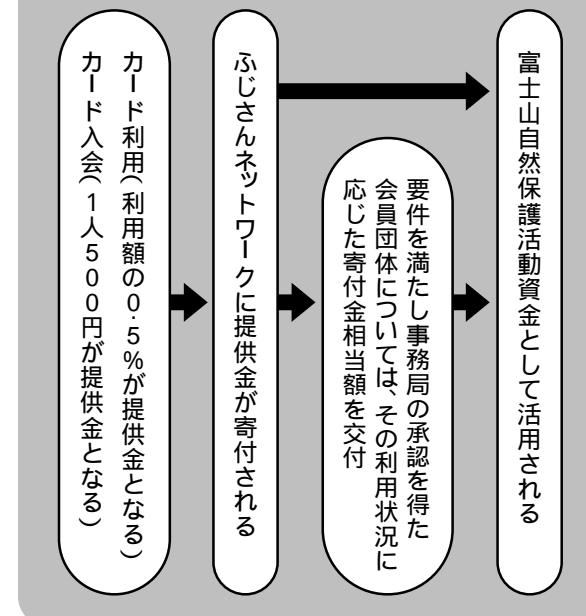


ニコス「ふじさんカード」



オリコ「富士山カード」

《カードのしくみ》



環境教育を充実させていきます。

昨年の会員連携事業「富士山こども自然塾」の終了後、各方面から「もっと多くの子どもたちに富士山を通じた環境教育を」との声があがり、そうしたニーズに応えるため、今年度は環境教育に力を注いでいきます。

たとえば、子どもたちのための「環境教育プログラム」の整備、充実。富士山の植物、動物、湧水など自然に親しみ、自然界に対する興味、理解を深めることができるプログラムを整備します。

また、自然観察、自然体験活動への講師の派遣や、活動の場の提供、自然とふれあう場や機会、各種施設、団体等の情報提供。さらには子どもたちを対象とした富士山を学ぶホームページも現在制作しています。ホームページには、キャラクターをナビゲーターに富士山ワールドを探検する仕掛けを作り、富士山に関する疑問コーナー、自由に発言できる掲示板なども予定しています。

「ふじさんネットワーク」だからできる環境教育。会員のみなさんのご意見、ご協力をお願いいたします。



百年の計、富士山に緑を返す運動

御殿場ライオンズクラブ
御殿場市萩原515 商工会館内
TEL/0550-84-0804 FAX/0550-83-9923



御殿場ライオンズクラブでは現在、「百年の計、富士山に緑を返す運動」を展開しています。これは富士山御殿場口周辺の砂礫地帯にある植物の枝を取り、里に挿し木して、2年後に富士山に植え返すという活動で、実施期間は百年。1991年7月にスタートし、今年11年目を迎えます。まだまだ長い、将来につなげる活動です。

これまで、ライオンズデーとして単発的な奉仕活動を続けてきましたが、継続でき、地域のためになるものをと模索していた時、メンバーより「富士山の水を頂いている我々の務めとして、富士山の砂礫地帯を緑にしよう」との声があがり、

早速検討に入りました。地元の植物学者の指導を受け、初年度秋に挿し木用の枝、バッコウヤナギ300本、フジアザミの種を採取。翌年6月にバッコウヤナギ200本、フジアザミの苗200本を砂地に返しました。が、砂礫地帯であるため問題点も多く、現在はバッコウヤナギのみとし、活動しています。

また地元新聞を通し活動のPRをしたことから地元の中学校から協力依頼もあり、その後は県の富士山保全室からの力要請もあるなど、今では6月の第1例会日を富士山植樹会として、ライオンズ、自治体、中学校、地元財産区、静岡県ボランティアグループ、ライオンレディが協力しあい実施しています。

富士山を愛する人や、地元で生活している多くの人が、富士山を育てる運動に関心を持つと同時に植樹参加を希望してくれています。地元中学校では敷地内に挿し木圃場を持ち、生徒たちが管理し、育てた苗木を富士山に植えています。こうした子どもたちの夢を継続し、育てていくことが、自然環境の重要性を知り、郷土愛に結びついていくのだと思います。大きな雪崩被害にあうこともあるでしょうが、負けずに百年、続けていく予定です。

富士山と共に40年。今年も「3776大作戦」に参加します。

静岡県ワンダーフォーゲル会
静岡市弥勒2-5-11 (事務局・今村)
TEL・FAX/054-255-2758



静岡県ワンダーフォーゲル会の発足は昭和35年、昨年、創立40周年を迎えました。現在は県内各地に15カ所の支部を持ち、会員数も800名を数えるに至っています。

当会と富士山との関わりは深く、発足記念のワンダリングも富士山の下、天子岳でした。当日の富士山は前夜の新雪に覆われ、ひととき美しく化粧し、我々を迎えてくれました。以来「静岡県ワンダーフォーゲル会」は単なる登山対象の山「富士」を離れ、富士山の一斉清掃に関わり続け、平成8の「1000名の富士山登山清掃隊」では多数のリーダーを参加させ、参加者全員の富士山登頂と清掃任務を遂行。

その指導力を地元関係者から感謝、賞賛されました。また、静岡新聞社が行った「富士山を世界遺産に」の署名活動にも関わり、「富士山憲章」のPR、「ふじさんネットワーク」への加盟など静岡県富士山環境保全運動にも積極参加し、昨年の「富士山自然林復元大作戦」の植樹活動には300名の参加者を送り出しています。「静岡県ワンダーフォーゲル会」と富士山とのおつきあいはこれからも永遠に続くことでしょう。

「日の光を浴びて、自然と親しむ」を綱領に40年。この間海外登山を含め、3600回にも及ぶ山行を行ってきました。また「来たときよりも美しく」をモットーに活動を進め、県内各地で清掃登山を実施。静岡県知事から「美化協力者」として表彰を頂きました。

40周年を経、50周年へと歩みだした当会は地域スポーツの振興をワンゲルに与えられた責務と認識し、組織充実のため、現在NPO法人の認証獲得を目指しています。

富士山をよみがえらせ、世界遺産に登録を

静岡地理教育研究会
静岡市瀬名1-11-85 TEL/054-262-2009 FAX/054-208-5061
Eメールアドレス zbb30169@olive.zero.ad.jp

私たち静岡地理教育研究会は、社会科教員の自主的な集まりです。毎月1回泊まり込みの研究会をもち、これまで32年間にわたって活動して来ました。何をどう教えるべきか、現代の世界と地域をどうとらえるべきか、私たちは農山村や漁民、あるいは工場を訪ね、そこに生きる人々の暮らしと、息づかいに接しながら思索してきました。その活動の中から生まれたのが『富士川の変貌と住民』、『よみがえれ 大井川』の2冊の著書でした。

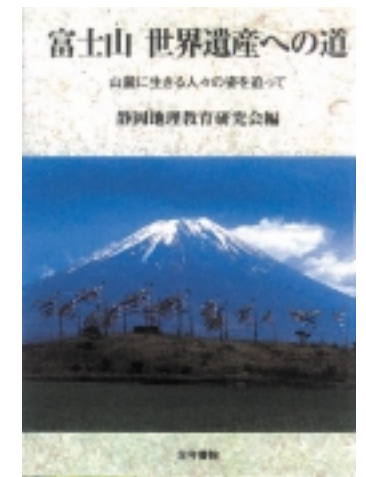
それから10年、私たちは富士山をテーマに取り組みました。富士山麓に生きる人々の中に入り、富士山のありのままの姿に接することで、富士山の今日的課題に迫りました。

朝霧高原の酪農家が風雪に耐えて開拓した辛酸や、忍野八海の北富士、忍草での「母の会」の入会闘争の話には心をうたれました。社会問題にもなった新興宗教と住民の攻防も取材し、沖縄米海兵隊の演習も目の当たりにしました。

近年、富士山を世界遺産に、という運動が大きくクローズアップされています。しかし私たちの研究からは、世界遺産にふさわしくない「富士山の今」が浮かび上がってき

ました。山肌に掘られた巨大な産業廃棄物処理場。観光道路とレジャー施設が山肌を裂き、オフロード車が道なき道を駆け巡り、観光客や登山者のゴミと尿の処理が大きな問題となっています。トイレの研究や森づくり運動等、自然の復元と共生するための課題は山積みです。

私たちはこの研究をまとめ霊峰富士の「森・水・土・基地・ゴミ・祈り・あそび・世界遺産」を山麓に生きる人々を通して、新しい視点で総合的にとらえました。そして昨年12月15日、『富士山世界遺産への道 山麓に生きる人々の姿を追って』と題し、古今書院より出版しました。ご一読いただければ幸いです。



南富士はマイフィールド

日本野鳥の会南富士支部
富士宮市西町12-10
TEL/FAX/0544-26-4089

本会の発足は昭和36年。第1回野鳥愛護のつどい企画、「囀」の創刊。昭和38年に静岡県野鳥愛護協会を発足。昭和39年に日本野鳥の会全国大会を富士宮で開催し、富士山2合目湧水地を中心に一大探鳥会を催したのが、富士山と共に歩んだ、本会活動の流れの原点です。以来、現場重視、愛鳥思想・自然保護思想の普及拡大を旨とし御殿場支部、静岡支部と連携し、活動を県下に拡げてきました。

何より、その頃は「愛鳥」や「自然保護」の未発達時代であったため普及部を置き、底辺拡大に努力しました。飼鳥の放鳥大会や愛鳥週間のポスター、作文募集、愛鳥モデル校の指定や協力、探鳥会の実施にも努めました。

当時は登山バスも2合目湧水地止りであったため、辺りは幽玄の世界で、大天然林を保存した聖地でした。

また当時から入山マナーは厳しく、探鳥会の都度、ゴミ拾い、山道補修、水場を造ってきました。夏場に1カ月も晴天が続くと富士山の生物は移動し、大型動物は棲めません。そこで諸方にコンクリート製水溜を設置し、多少の補いを願ったこともありました。

近年は行楽客が増加し、ボランティアも増えたことから、シーズンやイベント開催時は遠慮し、平素活動に廻るよ



うにしていますが、ゴミ一斉清掃、3776大作戦、植林地造成作業等には可能な限り参加してきました。また環境変化に対応する生物生息調査には常にデータ報告し、担当所等に助言をしています。

富士山との関わりは探鳥で、4月は天照神社、5月は高鉢遊歩道、7月は5合目宝永遊歩道等がメインで、毎年定番になっていますが、時には西臼塚、旧2合目湧水地、東臼塚になったり、冬鳥の特別調査もあり、事実調査ではありながらも楽しみでもあります。人として、自然との対話が究極の慰めでもと思っています。

「ふじさんネットワーク」ホームページに掲載されている情報の一部を紹介します。

掲 示 板

ズームイン!!朝!

投稿者:鈴木秀逸さん 1/15

初めまして。日本テレビ、「ズームイン!!朝!」という番組を制作している鈴木と申します。元旦、4日と番組内で富士山中継、特集を組んできました。富士山ってとても美しく、厳しい山だということを再確認させられました。さて、その富士山なんですけど今度番組内でまた取り上げることになりました!今回のテーマは「富士山に魅せられた人!」富士山が好きで好きでたまらない人!富士山見たさにこんなことまでしてしまった!富士山にこんな思い入れがある!など、富士山に並々ならぬ感情をお持ちの方がいらっしゃいましたら、メールを頂けたら幸いです。番組への感想でも結構ですので宜しくお願い致します!

頂上登山、何歳まで可能?

投稿者:比嘉敦さん 1/18

東京都、三鷹市のケアセンターに勤めています。冬になって、なんとうちの施設の3階から、富士山が晴れた日に見えるようになりました。それで、いつもいらっしゃる高齢者の方と眺めては、思いをよせています。ところで、頂上までは、何歳ぐらいの人まで登った記録があるのか、是非教えて下さい。

Re

投稿者:takeさん 1/19

富士登山ハンドブック(社団法人富士自然動物園協会・編)によると1987年夏、満101歳の福島県の五十嵐貞一さんが登頂されています。五十嵐さんは、高齢者登山記録を毎年更新し、この時が連続12回目の登頂だったとのこと。五十嵐さんは、富士吉田口5合目を出発し、途中ウマの背や、息子さん、お孫さんの背中を借りての登頂だったとのこと。また、富士山頂の浅間大社奥の院には、高齢登山者用の記帳簿が備え付けてあり、毎年多くの高齢者の方が記帳されています。しかし、富士山は日本の最高峰であり、簡単に登れる山ではありません。高齢者の方が登山される場合は、経験豊富な登山経験者と一緒に、アドバイスを受けながら、決して無理をされずに(体調が悪ければ、途中で引き返すべきです。)登山されることをお勧めします。

イベント情報

富士山緑の 募金の森活動1・2・3

日 時:4月8日(日)・22日(日)・
29日(祝)10:00~
場 所:富士宮市粟倉(富士山国有林)
問い合わせ:富士山自然の森づくり事務
局・仁藤
TEL/0544-24-9348

第8回富士山麓 ブナ林創造事業

日 時:4月29日(祝)
場 所:富士市大淵(富士山国有林)
問い合わせ:富士市みどりの課
TEL/0545-51-0123

春の植樹活動

日 時:4月28日(土)~29日(祝)
28日10:00~/29日15:00まで
場 所:富士山御殿場口
団体名:富士山ナショナル・トラスト
問い合わせ:富士社会教育センター
TEL/0550-89-2530

春の自然観察と幼苗採集

日 時:5月3日(祝)~4日(金)
3日16:00~/4日15:00まで
場 所:富士社会教育センター
団体名:富士山ナショナル・トラスト
問い合わせ:富士社会教育センター
TEL/0550-89-2530

土に還る木・ どんぐりの森づくり

日 時:4月28日(土)5月12日(土)
場 所:御殿場市駒門
問い合わせ:NPO法人土に還る木・森づ
くりの会
TEL/0550-84-5500

富士山の森づくり 「バッコヤナギの挿し木」

日 時:5月5日(祝)~6日(日)
5日16:00~/6日15:00まで
場 所:富士社会教育センター
団体名:富士山ナショナル・トラスト
問い合わせ:富士社会教育センター
TEL/0550-89-2530

第5回 富士山3776 自然林復元大作戦

日 時:4月29日(祝)10:00-15:00
場 所:富士市大淵
団体名:静岡県、関東森林管理局東
京分局、富士市
問い合わせ:静岡県環境部富士山保全室
TEL/054-221-3618

御殿場市乙女森林公園 「記念樹の森」植樹祭

日 時:5月12日(土)
場 所:御殿場市深沢
(乙女森林公園)
問い合わせ:NPO法人土に還る木・森づ
くりの会
TEL/0550-84-5500

メールアドレスを教えてください。

この度、「ふじさんネットワーク」の「メーリングリスト」を作成することにいたしました。会の代表の方、またそれぞれの会のメンバーの方でメールアドレスをお持ちの方、メールアドレスを事務局までお知らせください。

事務局メールアドレス 3776@fujisan-net.gr.jp

NEWS ピックアップ。

「富士山」に関する、ここ数カ月の新聞記事の中からピックアップしました。

2.23 読売新聞 朝刊

親子で学ぼう しずおか

■こわい土石流

富士山と富士山麓は、地形险峻した険しい山を囲まれています。大雨を降らせると、一部だけずり落ちた土石が、急な斜面を駆け下りて、谷間に集まると、土石流が発生します。土石流は、土石が水を含んで、一気に谷間に流れ下る現象です。土石流は、土石が水を含んで、一気に谷間に流れ下る現象です。土石流は、土石が水を含んで、一気に谷間に流れ下る現象です。

今も崩れる富士山

土砂60個分 防災工事に年40億円

約半世紀前の富士山の噴火が、七〇年に富士山麓市内の富士山麓に、大規模な土石流が発生し、約二千人が犠牲者を出した。この土石流は、約二千人が犠牲者を出した。この土石流は、約二千人が犠牲者を出した。この土石流は、約二千人が犠牲者を出した。

■山の委も守る

富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。富士山麓の山麓を守る。

大沢崩れ



約半世紀前の富士山の噴火が、七〇年に富士山麓市内の富士山麓に、大規模な土石流が発生し、約二千人が犠牲者を出した。この土石流は、約二千人が犠牲者を出した。この土石流は、約二千人が犠牲者を出した。この土石流は、約二千人が犠牲者を出した。

イラスト・黒田とみじ

- 今シーズン、チップ制トイレ協力金は162万円。
11.22 静岡新聞 朝刊
- 富士山大崩れで記録的土石流。一雨でダンプ7万台分、砂防施設に被害はなし、除去に14億円
11.30 静岡新聞 朝刊
- 富士山、世界遺産へ弾み。登録に保護審「お墨付き」
12.2 静岡新聞 朝刊
- 県民の手で森づくり。静岡で県などボランティアを表彰。石川知事「豊かな森林後世に」
12.4 静岡新聞 朝刊
- 「ふじさんカード」発行。会員募集、保護活動に貢献
12.9 静岡新聞 朝刊
- 御殿場市、富士山火山防災ハンドブック全世帯に配布へ
12.16 静岡新聞 朝刊
- 富士でシンボ。新世紀も富士山保全、情報開示の重要性指摘
12.23 静岡新聞 朝刊
- 世界遺産登録「人の歴史」忘れないで。県内中高社会科教員ら出版。富士山ろくの人間模様追う
1.7 中日新聞 朝刊
- 富士山にかくや姫。雪の紋様浮かぶ
1.9 静岡新聞 夕刊
- バイオトイレで富士の環境を守る。富士クラブ、山頂に2基設置、実験で実用化にメド
1.23 日本経済新聞 朝刊
- 富士山ろくに氷のオブジェ。山梨県で樹氷まつり
2.9 静岡新聞 朝刊
- 富士山ろくで360人が雪合戦
2.12 読売新聞 朝刊
- 山下清の未完のスケッチ「富士山」児童が色づけ「完成」
2.15 毎日新聞 朝刊
- 98年、富士宮の異常ゆう水。富士山の集中豪雨原因。静大、土名名譽教授が調査結果。地下水を押し出す「排水整備必要」
2.15 読売新聞 朝刊
- 富士山のゴミ問題、絵本で訴え。売上一部寄付山梨の童画家・柳原さん
2.24 毎日新聞 朝刊
- 富士山周辺でのアドベンチャーレース。知事開催に意欲
3.6 静岡新聞 朝刊
- 富士山の観測強化。前兆の把握目指す
3.10 静岡新聞 朝刊
- カタクリの自生地を守れ。住民が「トラストの会」
3.11 毎日新聞 朝刊

事務局通信

インターネット博覧会でも 富士山は人気ものです

2000年12月31日から1年間開催されている「インターネット博覧会」。静岡県パピリオンはもう、ご覧になられたでしょうか？静岡県パピリオンのテーマは「標高7000m!?」のワンダーランド。駿河湾の深海から富士山の頂上まで7000mの世界に展開される地球の謎や生命の神秘が紹介されていて、人気も上々とのことです。今後も「ふじさんネットワーク」として連携、協力していきます。



日本四輪駆動車協会より 寄付をいただきました

この度、会員である「日本四輪駆動車協会」より「富士山の環境保全の一部にお使いくください」という寄付をいただきました。富士山の環境保全活動に活用いたします。

メールアドレスをお知らせ下さい

「ふじさんネットワーク」のメーリングリスト作成のため、会の代表の方、またそれぞれの会のメンバーの方でメールアドレスをお持ちの方、メールアドレスをお知らせ下さい。事務局からの様々な連絡、また会員のみなさんからの事務局への要望等、メールを活用することで、よりコミュニケーションを深めていきたいと考えています。お手数ですが事務局(3776@fujisan-net.gr.jp)までお知らせ下さい。

みなさんの活動をPRして下さい

情報誌の「MEMBERS」は会員のみなさんの活動を紹介するページです。みなさんの会、団体の活動をご紹介下さい。原稿をお待ちしています。

会員募集

「ふじさんネットワーク」は随時会員を募集しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

「ふじさんネットワーク」事務局

〒420-8601
静岡市追手町9番6号
静岡県環境部富士山保全室内
TEL/054-221-3618
FAX/054-255-6495
URL/http://www.fujisan-net.gr.jp/
E-mail/3776@fujisan-net.gr.jp

富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育んできました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、静岡・山梨両県は、ここに富士山憲章を定めます。

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日

静岡県
山梨県

『富士山ントリーコード』

10の約束、美しい富士山をあなたと共にいつまでも
策定：富士山地域環境保全対策協議会

- 1 「美しい富士山を後世に引き継ぐ」
- 2 「ゴミは絶対捨てずに、すべて持ち帰る」
- 3 「ゴミになるようなものを最初から持っていけない」
- 4 「登山道はずれて歩かない」
- 5 「登頂記念の落書きをしない」
- 6 「車道外へ車両等を乗り入れない」
- 7 「溶岩樹型等の特殊地形を壊さない」
- 8 「駐車場ではアイドリングをしない」
- 9 「動植物を採らない」
- 10 「トイレなど公共施設をきれいに使う」